

講義名	財務管理論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	福田 司文		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	11033

主題と概要

財務管理は企業はどのように資金を調達し、その資金を運用するか（使うか）を考える分野である。調達はどのような手段があるか、適切な調達とは何かを問題にしなければならない。運用については運用手段や運用の合理的な基準が問題になる。企業の資金の動きの概要を理解し、その際、利用されるいくつかの基本的基準を学習する。現在の財務は高度に発達していた複雑だが、その基本的な仕組み、考え方が理解できるように授業を進める。

授業の内容は、問題にするテーマについての事例とその理論を組み合わせることで説明するように努力する。財務管理は会計学とは問題の取扱が異なるため、必ずしも会計の知識が必要と言うわけではないが、会計の知識があった方が理解容易であるのは事実である。

到達目標

- (1) 企業の資金の動きが理解できる。
- (2) 資金運用についてのいくつかの基準が理解できる。
- (3) 株式会社と株式が経営に占める重要度が理解できる。

提出課題

授業中に復習クイズを数回行う。授業内容に基づいた課題の提出も要求する。

評価の基準

復習クイズの提出、出席もランダムに確認する。期末試験は実施する。期末試験は70%に割合で評価し、残り30%は復習クイズの提出で評価。

履修にあたっての注意・助言他

財務はお金のことである。そのため基本的な思考は、数字でいろんなことを考えることにある。きちんと積み重ねる学習をしないと分からなくなるので、出席だけでなくきちんと聞いて理解してください。質問は大歓迎です。どんどんしてください。授業では計算することが必要になるので電卓等の計算機もかばんに入れておいてください。

教科書

.使用せず。.

プリント資料及び参考文献

配布のプリントを進める。

<参考文献>
 島、入門コーポレートファイナンス、日本評論社
 榎原、菊池、新井、現代の財務管理、有斐閣
 花枝、企業財務入門、白桃書房

授業計画

- 1回 企業の活動と財務管理 企業活動の目標
- 2回 財務諸表とその構造
- 3回 経営を計画する。 損益分岐点、ROE、ROA
- 4回 現金の重要性 簡単な資金繰り
- 5回 資金繰り表の作成
- 6回 現代企業の財務目的 複利計算と現在価値
- 7回 株式評価と利回り
- 8回 資本コスト
- 9回 キャッシュフローと投資決定
- 10回 負債利用 事例と理論
- 11回 まとめ

複数回でカバー数項目もあるので、一テーマ一回で終了するわけではないことをあらかじめ承しておいてください。

予習・復習

予習よりも復習の方を重視します。予習については参考文献の関連項目を参考にしてください。復習は適宜、授業中クイズ、復習問題を出題します。

備考